

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

今年の干支「午」の木目込み人形を作っていく

<テーマの設定理由>

普段、目にすることや手にすること、触れることの少ない木目込み人形とは何かを知り、木目込み独特の作り方を学び手作りの木目込み人形を完成し達成感を味わう

2. 活動スケジュール

実践月	実践日	テーマ	対象学年	内容
10月	17日	ヤスリかけ	年長	・人形のボディを紙ヤスリで表面を滑らかにする ・講師の先生と一緒に作る楽しさを味わう ・欠けている部分や溝の浅い所の修正を講師の先生が直す
10月	24日 31日	木目込み糊で 布をつける (底の部分)	年長	・保育で使う糊と木目込みで使う糊の違いを知る ・糊の使い方を教わる ・竹串の使い方を教わる
11月	7日	本体に木目込んでいく (胴体部分)	年長	・前回の続きから行う ・竹串を使い溝に糊を入れていく ・講師の先生にはめてもらい木目込んでいく
11月	21日	本体に木目込んでいく (顔の部分)	年長	・前回の続きから行う ・竹串を使い溝に糊を入れていく ・講師の先生にはめてもらい木目込んでいく
1月	16日	本体に木目込んでいく (尻尾・その他)	年長	・前回の続きから行う ・竹串を使い溝に糊を入れていく ・講師の先生にはめてもらい木目込んでいく
1月	23日	飾り付け・仕上げ	年長	・本体の布を全てはめ込みが完了し、講師の先生が一人ひとりの作品に飾り付け（目や部品パーツ）を付けていく ・仕上げの確認をしていただく
2月	14日	完成製作展示	園児 保護者	・他学年の園児や保護者に完成した木目込み人形を見せもらう ・自分たちの活動を保護者と会話を楽しみながら鑑賞する

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動のために準備した材料や道具

- * 活動のため、木目込み人形の本体、布、寒梅粉、竹串を用意した。
- * 園児机・椅子用意し、活動にあたり、他児と竹串の接触がないよう配慮し間隔をあけて環境構成を行う

環境の設定

- * 今年の干支『午』の木目込み人形を作るにあたり、干支の意味や干支とは何かを知ることができ、探究心が芽生え自分の人形を作る経験を味わう。
- * 寒梅粉を竹串に付け、人形に布を貼り付けるための溝に、糊を少しずつ入れていく。
- * 講師の先生に布を合わせていただいたあと、再度、竹串を使い溝に布を自分ではめ込んでいく。
- * 1つずつ仕上げるので、活動時間は園児の作業スピードによって異なり、個々のペースで進んでいく。



4. 振り返り

- * 人形を手作りすることに、興味津々の園児達で、講師の先生が木目込み人形について話をしてくれた時、園児たちは真剣に話を聞きいていた。
- * 「木目込みってなに?」「何からできているの?」と園児が木目込みについて興味を示し、講師の先生に率先して話しかけ、講師の先生と園児の会話を教諭が聞きながら木目込みに対するとらえ方や意欲を活動の様子から伺うことができた。
- * 園児の言葉を大切にして大人が共感することで、木目込みに対して探究心が芽生える姿が見ることができた。
- * 活動中の園児たちは、会話を楽しむことよりも木目込みをすることに集中する園児が多かった。
- * 作品展に完成した作品を保護者の方が熱心に見てくれていた。傍にいた子どもたちの嬉しそうな表情が印象的でした。